

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成29年11月28日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田周二
レジメン名	DLd(3~6コース目)【計4回】		
疾患名	多発性骨髄腫	適応の備考	
適応分類	地固め療法		
1コース日数	28	日間	総コース数
			4
			コース
			催吐性リスク
			最少度

抗がん剤投与量・投与日 | ダラザレックス16mg/kg day1.15、レブラミド25mg/body day1-day21、レナデックス20mg/body day2.16、レナデックス40mg/body day8.22

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●														●													
	点滴静注	デキサート6.6mg	3 本 / body		●														●													
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●														●													
	点滴静注	ダラザレックス注	16 mg / kg	下記	●														●													
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●														●													
	点滴静注		/	/																												
	経口投与	レブラミドカプセル5mg 1日1回	25 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	経口投与	レナデックス錠4mg 1日1回	20 mg / body			●														●												
	経口投与	レナデックス錠4mg 1日1回	40 mg / body								●															●						
	経口投与	ポララミン錠2mg	1 錠 / body		●														●													
	経口投与	ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body		●														●													

【投与上の注意】

ダラザレックス: 前投薬としてポララミン(2)1錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
 ダラザレックス: 2回目以降はinfusion reaction が初回投与開始3時間以内になれば、希釈の生食を500mLとすることができる。
 ダラザレックス: 3回目以降は、初回と2回目投与時に最終速度が100mL/h以上でinfusion reaction がなければ、100mL/h × 1hから開始し、150mL/h × 1h、200mL/hとする。
 ダラザレックス: 投与時はインラインフィルター(0.2 μ m)を使用すること。

